

平成 29 年～平成 30 年 3 月

「生体分子コバレント修飾の革新的解析拠点形成」プロジェクト研究成果

研究室名：薬物治療学 研究室

【原著】

・ Kawaai K, Ando H, Satoh N, Yamada H, Ogawa N, Hirose M, Mizutani A, Bonneau B, Seki G, Mikoshiba K., Splicing variation of Long-IRBIT determines the target selectivity of IRBIT family proteins. *Proc Natl Acad Sci U S A.*, **114** 3921-392, 2017

【依頼・招待講演等】

・ 水谷 颯洋、河合 克宏、安東 英明、山田 秀臣、関 常司、御子柴 克彦：IRBIT は、細胞内の Ca<sup>2+</sup>シグナルと pH 環境とを統合的に調節する。 第 95 回日本生理学会大会 企画シンポジウム「カルシウムシグナル伝達の新潮流とその生理的意義」（高松）、2018 年 3 月 28-30 日